

迫る! 国際規格化

上下水道サービスの新視点

世界水ビジネスの行方

水ビジネスの動き
21世紀は水の時代

世界の水ビジネスを見渡すと、九〇年代から世界上下水道の民営化の動きが急速に広まった。これは途上国向けの上下水道の普及を加速するために、世界銀行やIMF(国際通貨基金)が「公営の水道事業は非効率であり、融資の条件として民営化を強く要求」する政策を取ったことによるものであった。

グローバルウオータ・ジャパン代表
吉村 和就

巨大企業の独占と参入

その結果、世界的な水事業会社であるヴェオリア(当時はビベンディ)、スエズ、RWEの三社が世界民営化市場の八割を

独占し、給水人口も三〇方国(四億人)に達した。この民営化にも「光と影」が存在する。途上国で水道が普及した半面、民営化によるコスト回収

が難しく、事業として重要な、水関連法律や未整備の問題、通貨や為替の問題、お互いの補償条項など、契約時のリスク管理

がなされてないものが多い。また先進国においては、その契約条件を巡り多くの訴訟合戦

が起きている。「民営化はすべて悪なのか」。この影の部分を探る。この影の部分を探る。この影の部分を探る。

「民営化はすべて悪なのか」。この影の部分を探る。この影の部分を探る。この影の部分を探る。

「民営化はすべて悪なのか」。この影の部分を探る。この影の部分を探る。この影の部分を探る。

「民営化はすべて悪なのか」。この影の部分を探る。この影の部分を探る。この影の部分を探る。

「民営化はすべて悪なのか」。この影の部分を探る。この影の部分を探る。この影の部分を探る。

TC224の必要性
グローバルスタンダード

グローバル3社の動き

二〇〇〇年以後のグローバル3社の動きを見る

表 世界水ビジネス企業・売り上げ上位3社(2004年)

企業名	全体売り上げ	従業員	水部門売り上げ	水関連従業員	給水人口
スエズ(フランス)	5兆8000億円	158,000人	1兆5000億円	72,000人	125百万人
ヴェオリア(フランス)	3兆1500億円	252,000人	1兆920億円	68,000人	108百万人
RWE(ドイツ)	5兆8800億円	86,000人	5740億円	15,000人	70百万人

国では成都市(一八年間)、上海・浦東地区(五〇年間)、仁川地区(二〇年間)など長期間の契約を受注しており、受注残は九〇〇〇億円近くに達している。グローバル市場ではヴェオリア社の「一人勝ち」と見られていたが、更に巨大な企業(GE、シーメンスなど)が水ビジネスに興味を示している。

ことを明言している。一方、ヴェオリア社は、水ビジネスを経営の柱として、利益が安定している欧州や発展が著しい中国に絞っている。中国では成都市(一八年間)、上海・浦東地区(五〇年間)、仁川地区(二〇年間)など長期間の契約を受注しており、受注残は九〇〇〇億円近くに達している。グローバル市場ではヴェオリア社の「一人勝ち」と見られていたが、更に巨大な企業(GE、シーメンスなど)が水ビジネスに興味を示している。